

笠地蔵

声で語られ
耳で聞いてきた昔話は
音楽に似ている
と言われています

語る人、聞く人
地域や文化によつて変化し
語られる時間にだけ
存在する昔話

ぜひ

お子さん、お孫さんに
あなたの声で
読んであげてください



笠地蔵

再話 栎谷洋子（ふくい昔ばなし大学再話研究会）

むかあしの、お、あつとこに、おじじとお、おばばがいたんやとの。
あつ年のお大晦日、おばばが、

「大歳になつてもお、餅をつく米もねえんにや。ものごいこつちやの「お」ちゅうと、おじじは、「ぜんは、もうこんだけしかねんや。ほやけど、このぜんで、町へえいつて、餅をこうてくるかの」ちゅうたんやあと。

おじじは、雪ん中を、町へえでかけていつたんやあと。途中のお辻に、六地蔵さんが、頭から雪かぶつてえ、おもたそにい、さむそおにい、ならんで立つていなさつたんやと。おじじは、

「六地蔵さん。なんたこつちやの。笠もかぶつてならん。どんねちびたいやろの。さむいやろの「お」ちいながら、手でえ、六地蔵さんの頭につもつた雪をはろてあげたんやあと。

おじじはあ、町にい着くつちゅうと歳の市で餅を買おうとしたんやと。ほやけど、

（今、餅をこうてかえつても、おばばとくうてまうだけや。餅はくわんでもお、正月はくるわな。ほや、餅は買わんと、六地蔵さんい笠をこうてかえろ）とおもて、餅のかわりに、すげの笠を六つこうたんやと。

かえりみち、おじじは、六地蔵さんのとこまでもどつてくると、手でお地蔵さんの頭の雪をおはろて笠をかぶせてあげたんやと。ほどからうちにかえつていったんやとの。

おじじはうちに着くつちゅうと、

「おばば、おばば、辻の六地蔵さんがの、雪をいつペえとかぶつてさむそうにしていなさつたさけ、餅かわんとお、笠をこうて、かぶせてきたわの。餅はあくわんかて正月はくるさけの。うららは、餅つくう真似でもしておこかいの」ちゅうたんやと。おばばも、「よかつた、よかつた。ほりやいいことしなはつたわいね。餅はくわんかてお正月はくるさけの。ほや、ほや、おいさん、ふたりで、餅つく真似しておこさ」ちゅうたんやあと。

ほのばん、おじじとおばばはふたりで、家の柱をたたきながら餅つく真似してうとたんやての。

ペツタラ ペツタラ ペツタンコー

ペツタラ ペツタラ ペツタンコー

ほいたら、ほれに合わせて外から

ペツタラ ペツタラ ペツタンコー

ペツタラ ペツタラ ペツタンコー

ちゅうて歌う声が聞こえてきたんやと。おじじとおばばが（だれやろ）とおもて、戸を開けて外を見るつちゅうと、笠をかぶつた坊さんが6人歌いながらやつてきたんやとの。坊さんは

「おじじ、おばば、うららは、笠をかぶせてもろた辻の六地蔵や。正月の餅買わんと、よう、笠こうてかぶせてうんだつた。ほら、笠のおれいに正月の餅もつてきたさけの」ちゅうたんやといの。ほいてつきたての、いけいおかがみさん置いて帰つていったんにやと。

おじじとおばばは、ほの餅で、いいお正月を迎えたちゅうこつちや。



語られたこと

聞いたことがすべて本物



昔話は、おじいちゃん、おばあちゃんが口で語り聞かせてきたもの。住んでいる環境が違ったり、語る人が相手にかかるように話そようと/or>するので、少しずつ変化してきました。だから、同じ「笠地蔵」でも語られる場所や人によつて様々であり、そのどれもが本物です。紹介した奥越地方の「笠地蔵」にも、なるほど、福井の昔話だと領く描写がいたるところにみられます。例えば、餅を買わなかつた老夫婦が「餅をつく真似をしよう」と柱を「ペッタラペッタラ」とたくさんのシーンは、「私たちのとこでも餅をついてるんだよ」という、福井県民の見栄つ張りなところが出ている気がします。また、皆さんのが読んだことのある「笠地蔵」は、老夫婦が寝静まつた頃、お酒やお米、お宝などをたんまり持つてきますが、奥越に伝わる笠地蔵が運んでくるのは、神様を迎えるお供え物として飾る「鏡餅だけ」。これもまた信仰心が厚い福井ならでは、と言えますよね。

おじいちゃん、おばあちゃんから聞いた話や、地域に伝わる昔話は、その地域にしかありません。それは目で読むより、耳で聞いたほうがずっと良いものだと思います。

ふくい昔ばなし大学再話研究会

現代では、本で読まれるものになっている昔話を、耳で聞いて楽しめるように、また、昔話本来の形を壊さないで次の世代に伝えていくために、小澤俊夫氏（小澤昔ばなし研究所所長）の指導のもと、再話に取り組んでいる。そして、再話した昔話を図書館、小学校、保育園などで、子ども達の耳に、また大人たちの耳に語り届けている。

取材……宮本 隆行 Art Director ……三嶋 良晴
撮影……高橋 正勝 制作……牧田 有加

組人についてのお問い合わせ・バックナンバーは
発行元 大一印刷株式会社

〒910-2142 福井県福井市前波町17-6-1

TEL.0776-41-3741 FAX.0776-41-2442

<http://bigone-p.com/kumibito/>

企画制作・編集

コミュニティサポート5〇プロジェクト

